

令和2年度

第2回

三木市社会教育委員会

会議資料

日 時：令和3年3月25日（木）

午前10時から

場 所：市役所 5階 大会議室

— 目 次 —

令和2年度事業の実績及び令和3年度計画案について

頁

(1) 新型コロナウイルス感染症対策について

- 1 令和2年度の主な対応 …………… 1
- 2 令和3年度における事業への対応 …………… 2

(2) 生涯学習課、公民館

- 1 地域のまちづくりに関すること …………… 3
- 2 生涯学習の推進に関すること …………… 5
- 3 社会教育団体の育成に関すること …………… 6
- 4 まなびの郷みずほに関すること …………… 7
- 5 別所ふるさと交流館 …………… 8
- 6 成人式に関すること …………… 8
- 7 市内10公民館の取組 …………… 11

(3) 文化・スポーツ課、美術館

- 1 令和2年度 社会教育事業実施状況 …………… 21
- 2 令和2年度 社会体育事業実施状況 …………… 23
- 3 令和2年度 美術館事業実施状況 …………… 26
- 4 令和3年度 社会教育施策実施予定 …………… 27
- 5 令和3年度 社会体育事業実施予定 …………… 29
- 6 令和3年度 美術館事業実施予定 …………… 30

(4) 教育センター		頁
1	生涯学習に関する事	31
2	青少年教育に関する事	31
3	青少年の非行防止と健全育成に関する事	31
4	令和2年度三木市立教育センター事業一覧	33
(5) 図書館		
1	令和2年度の成果と課題	34
2	図書館事業実施状況	34
(6) 市民協働課		
1	地域のまちづくりに関する事	40
(7) 人権推進課		
1	令和2年度 人権尊重の文化に満ちたまちづくりに かかる事業の実施状況	41
2	令和3年度 人権尊重の文化に満ちたまちづくりに かかる事業の実施計画	42
3	令和2年度 各地推協活動実施状況集計	43
その他		
	令和3年度 東播磨・北播磨地区社会教育委員協議会事業計画予定	45
	令和3年度 兵庫県社会教育委員協議会関連日程予定	46

新型コロナウイルス感染症対策について

1 令和2年度の主な対応

新しい生活様式では、これまでは考慮してこなかったようなことも感染予防のために行う必要があります。新型コロナウイルスの出現に伴い、飛沫感染や接触感染、さらには近距離での会話への対策を取り入れた事業の実施が必要となりましたので、下記のような対策を講じて事業を実施しました。

(1) 書面議決

- ・三木市連合PTA理事総会（生涯学習課 5月）
- ・三木市人権同和教育協議会総会（人権推進課 5月）
- ・三木市区長協議会連合会総会（市民協働課 5月）

上記については、例年、数十人の役員が、同時期に一堂に会して総会を行っていたが、役員の実集は中止し、審議内容を記した書面を各役員に郵送して、回答を返送してもらう書面議決の方法で総会を行った。

(2) 紙面発表・紙上実践交流

- ・三木市連合PTA指定校研究発表会（生涯学習課 2月）
- ・三木市人権・同和教育研究大会（人権推進課 11月）

上記については、例年、数百人の関係者が集い、実践発表会と講師による記念講演会が開催されていたが、参集形式の大会は中止し、実践発表内容を冊子にまとめた紙面発表のかたちで実施した。

(3) 分散開催

- ・第73回三木市成人式（生涯学習課 1月 三木市文化会館）

上記については、例年、三木市文化会館大ホールに新成人約600人を集め、午前中に開催していたが、本年度は中学校区で午前と午後に分け、2部開催で時間短縮の上、実施した。

(4) 合同開催

- ・市民人権のつどいと総合隣保館文化祭（人権推進課 12月 三木市文化会館）

上記については、例年8月に開催している市民人権のつどいが、各校に4月に募集をかけている人権作文・標語・ポスターの準備が緊急事態宣言に伴う休校措置で間に合わず、延期または中止としていたものを中止にはせず、発想の転換により、12月開催の総合隣保館文化祭と合わせて、より広い三木市文化会館を会場とし、3密を回避しての合同開催が実現した。

(5) 中止となった事業

- ・三木市子ども会育成会連絡協議会友だちキャンプ（生涯学習課 8月）
- ・三木市連合PTA清掃奉仕作業（生涯学習課 8月）

- ・まなびの郷みずほ交流キャンプ（生涯学習課 8月）
 - ・公民館各種専門教室【サマースクール等】（生涯学習課）
- 上記については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点と緊急事態宣言に伴う休校措置で夏休み期間が短縮されたため、事業の実施を断念した。

(6) その他

- ・住民学習（人権推進課、生涯学習課）
- 上記については、小規模開催やDVDの回覧、家庭内でYoutube動画を視聴して学習するなど、従来と違った新たな開催方法により3密を回避して実施した。

2 令和3年度における事業への対応

(1) 感染症対策

- ・新しい生活様式として、次の感染症対策を講じたうえで、行事・イベント・会議を開催する。

① 行事・イベント

- ・入口での来場者の手指消毒
- ・マスク着用の徹底
- ・サーマルカメラ等による来場者の検温
- ・観客席はできるだけ左右空けて前後も重ならないように配置してソーシャルディスタンスを確保する。
- ・出演者使用後のマイクの消毒
- ・演台への飛沫感染防止パネルの設置
- ・集団感染時に対応するための出席者の名簿作成等による把握
- ・会場の換気
- ・開催時間の短縮

② 会議

- ・入口での出席者の手指消毒
- ・マスク着用の徹底
- ・サーマルカメラ等による出席者の検温
- ・席は人と人との間隔を1m以上あけて設ける。
- ・出席者使用後のマイクの消毒
- ・飛沫感染防止パネルの活用
- ・会場の換気
- ・開催時間の短縮

(2) 今後の取り組み

- ・コロナ禍だからできないではなく、コロナ禍だからこそという視点で、各種事業の実施方法見直し、ピンチをチャンスとしてとらえ、持続可能な社会教育活動の推進に取り組んでいく必要があります。

各団体、所属とも連携し、先進事例なども参考としながら、三木市ならではの社会教育の振興に取り組む。

生涯学習課、公民館

1 地域のまちづくりに関すること

まちづくりを推進するため、地域団体と公民館が一体となり事業を実施しました。各地域において、地域間交流、地域防災訓練、地域課題の解決へ向けての市民協議会の活動を進める中で、地域の誇りづくりや、地域の交流拠点としての公民館の機能を高めることができた。

(1) よろず相談事業 273件（令和3年1月末現在）

内容	提言	要望	意見	苦情	質問	他	軽微
件数	1	6	0	3	6	1	256

(2) 地域間交流事業

地域名	主な交流事業
三木	乳幼児教室、女性かがやきセミナー、高齢者教室（地域外オープン参加）、地域ふれあい文化祭（中止）、町家・町中コンサート（中止）、みそづくり教室（吉川：山田錦の館）、珈琲倶楽部の他町への講師活動
三木南	生涯学習講座における交流事業、スポーツ交流事業、文化交流事業 別所地区との人権学習交流事業（コロナ禍により中止）
別所	農業まつり（中止）、家庭教育学級、三木南地区との人権交流事業（中止、社会教育推進委員交流会・合同人権視察）
志染	乳幼児教育学級交流（細川町地区）、乳幼児教育学級（地域外乳幼児も参加）、サマースクールは中止（地域外児童も参加）
細川	乳幼児教育学級（志染地区）、みずほ交流キャンプ（口吉川地区）中止、人権視察研修（吉川地区）中止、スキー・スノーボード教室（口吉川・志染地区）中止
口吉川	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年開催している交流事業はすべて中止となった。
緑が丘	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた2つの事業が中止となった。
自由が丘	新型コロナ感染防止のため実施できなかった。
青山	女性セミナー・高齢者教室（オープン参加）。 サマースクールデイキャンプ（緑が丘地区）※今年度は中止
吉川	三木市俳句まつり、文協展、珈琲倶楽部、高齢者教室、女性セミナー

(3) 地域防災訓練の取組

地域名	主な訓練内容
三木	防災研修「防災について」（中止）
三木南	防災研修（通報、避難、AED、ハザードマップ、避難所など）
別所	地域防災研修（新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営）
志染	・県広域防災センターでの防災訓練（講義・体験型学習・訓練） ・防災研修と支え合いマップ及び防災マップの見直し（中止）
細川	自主防災組織体制の確認、感染症に対応した避難所運営研修
口吉川	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年開催している防災訓練は中止となった。
緑が丘	新型コロナウイルス感染拡大より町全体での防災訓練が実施できなかったため、防災啓発パンフレット「自宅でできる防災訓練」を作成し全世帯に配布した。パンフレットにより、地域の状況に絞り込んだ「ハザードマップ」の読み方、避難先、情報入手の方法や自宅での備

	えについて啓発する。
自由が丘	新型コロナ感染防止のため訓練は実施できなかったが、ひょうご広域防災センター防災教育専門員田中健一氏を招いて避難所運営の研修会を開催した。
青 山	各自治会代表者が兵庫県広域防災センターでの防災研修を受講後、疑似体験（起震車、煙）訓練を受け、陸上競技場下の備蓄倉庫を見学し、防災食（カレー）を試食。
吉 川	未実施

(4) 各市民協議会(市内 10 地域)の活動

地域名	結成日	組織名	主な活動
三 木	H23. 3. 16	三木地区ふれあい交流事業推進委員会 (愛称:ふれっぴーみき)	花いっぱい運動、七夕まつり(中止)、町家・町中コンサート(中止)、お月見会(中止)、おひなまつり会、地域ふれあい文化祭(中止)、珈琲倶楽部、地域特産品開発講座(養蜂)、情報紙発行など
三木南	H22. 4. 1	三木南ふれあいプロジェクト	世代交流、地域交流、暮らし生活、防犯防災、安全安心、環境美化、スポーツ、子育てサポート、人権啓発、見守り活動など
別 所	H21. 4. 1	別所まちづくり協議会	納涼大会、防災訓練、スポーツ大会、ハイキング、農業まつり、文化祭、ふれあいバス、青色防犯パトロール、地域清掃など
志 染	H21. 3. 26	志染ふれあい委員会	文化祭、地域防災訓練、歴史散策、学校再編成、広報など
細 川	H21. 2. 19	細川町豊かな町づくり推進協議会	釣り大会(中止)、夏まつり(中止)、文化祭(展示のみ)、藤原惺窩まつり、人権推進大会、支えあい協働会議・防災研修会、スキー・スノーボード教室(中止)、買い物バス体験、「マイお出かけ時刻表」発行、防犯カメラ設置、「細川地区住民つながり計画」、広報発行など
口吉川	H21. 11. 2	口吉川ふれあいまちづくり協議会	実施:ふれあいバス運行、高齢者宅果物配布、ハイキング 中止:盆踊り、文化祭、バレーボール大会、敬老会、防災訓練
緑が丘	H21. 4. 18	緑が丘町まちづくり協議会	実施:クリーン作戦、中止:GG大会、ふるさと祭り、文化祭、防災避難・炊出し訓練、ニュースポーツ大会、まちづくり推進大会
自由が丘	H23. 4. 1	自由が丘市民協議会	新型コロナ感染防止のため、イベント関係はすべて中止となった。安全安心なまちづくりにかかる会議を4回開催した。
青 山	H24. 3. 31	青山まちづくり協議会	ラジオ体操、広報発行、子育て支援事業。GG大会、夏まつり、敬老会、文化祭、自主防災訓練は中止。
吉 川	H22. 3. 25	吉川町まちづくり協議会	リサイクル事業 など

※GG=グラウンドゴルフ

(5) 課題と今後の取組

市民協議会の実施事業では、地域住民、世代間の交流事業に加え、他地区との交流も定着してきている。これまで市民協議会に対し、まちづくり研修会を実施してきたことにより、課題検討等のための部会を設置する地区もあり、各地区で地域課題について話し合う機会づくりや解決に向けた取組が始まっている。

併せて、各地区に配置している地域まちづくり担当に対しても、それらの取組を支援できるよう研修を実施している。市民協議会の自主的・主体的な取組みを促進し、自主・自立を目標に組織力の強化や運営面で側面的支援を行う。

2 生涯学習の推進に関すること

家庭の教育力の向上について重点を置き、家族の絆を深めるための親子行事や交流の場づくりを進めるとともに、女性セミナー、高齢者教室など、ライフステージに応じた生涯学習講座を実施した。

(1) 公民館の生涯学習講座

豊かな知識と教養を身につけてもらうために、乳幼児学級、家庭教育学級、女性セミナー、高齢者教室、各種専門講座など、ライフステージに応じた生涯学習講座を実施した。

(2) みつきい生涯学習講師派遣事業の実施状況（令和3年1月末現在）

知識及び技能を有し、それを地域社会に役立てたいと考えている方を講師として登録し、各種活動団体の要望に応じて派遣した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による会合等の自粛のため、派遣回数が前年度の54回から大幅に減少した。

・講師登録者数 76名

・派遣回数 22回

内訳	スポーツ、レクリエーション	8回
	家庭・社会生活	7回
	文化芸術	1回
	教養	3回
	その他	3回

(3) コミュニティ形成事業

例年、10地域で、納涼大会、文化祭、地域防災訓練、グラウンドゴルフ大会、バレーボール大会、ソフトボール大会、七夕まつり会などの事業を実施しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止した事業もある。

(4) 地域と学校の連携・協働体制構築事業

平成29年度10月から地域と学校が連携・協働して、地域全体で子どもたちの成長を支えていく活動を行うための体制づくりを構築するために「地域と学校の連携・協働体制構築事業」を実施している。例年、市内小中学校、各公民館で地域と連携した活動を実施しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、前年度実施事業数29から14に減少した。(9ページ、10ページ参照)

(5) 課題と今後の取組

公民館の各種講座や事業等で、多様化するニーズに対応するために、講座内容の充実を図る。参加者が学ぶだけでなく、講座で学んだことや知識を活かせる場や機会を提供していく。また、30～40歳台の中間世代の市民がより多く参加できる講座を実施していくことにより、次世代のみっきい生涯学習講師や地域の核となる人材育成に努める。

「地域と学校の連携・協働体制構築事業」は、現在のところ、統括コーディネーターを中心に地域や学校と連携して実施している。今後は地域の実情に合わせて、各地域の地域学校協働本部の設置や地域コーディネーターの配置を目指す。

3 社会教育団体の育成支援に関すること

(1) 連合PTA（会員数：5,383名）

連合PTAは、三木市内小・中学校の単位PTAをもって組織されていることから、単位PTA相互の連絡提携を図るため、例年、総会及び第1回理事会を5月に開催し、第2回理事会を12月に開催するとともに、PTA活動の振興発展を目的とした指定校による研究発表会を2月に開催するなど様々な活動を実施している。

しかし、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、5月の総会及び第1回理事会は書面議決となった。12月の第2回理事会は開催することができたが、2月の研究発表会は紙面での発表とし、8月の清掃奉仕作業は中止となった。

(2) 子ども会育成会連絡協議会（会員数：760名）

子ども会育成会連絡協議会は、三木市内各地区子ども会の連絡調整を図るため、4月と5月、10月、2月に理事会を開催している。子どもたちの健全育成を図るため、例年、夏休み期間中に実施している「ともだちキャンプ」と、11月の「北播磨地区子ども会議」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。

(3) 連合婦人会（会員数：300名）

例年、連合婦人会として、安全安心なまちづくりのため、防災訓練への参加や子どもの見守り活動、兵庫県婦人会活動への参加などに取り組んでいる。

一方、各地区の婦人会においては活動が縮小しているが、地域によっては、自治会女性部として地域活動が継続している。令和2年度は、新型コロナウイルス

感染症拡大の影響を受け、例年実施されている県婦人会バレーボール大会といった大きな行事が中止になった。

(4) 課題と今後の取組

連合PTAは、小・中学校の単位PTA活動とは別に連合PTA独自の活動や行事等があるため、特に小・中学校24校の単位PTAから2名ずつ選出されている48名の理事と、さらに理事の中から選出されている会長1名と副会長2名にかかる負担が大きい。そのため、今後も負担軽減が図れるように活動内容を見直しつつ支援をしていきたい。

子ども会育成会連絡協議会は、少子化等の影響により、加盟地区が減少し、現在のところ市内10地区のうち2地区の加盟となっている。

少子化が進む中ではあるが、今後も「ともだちキャンプ」を中心とした事業を支援し、子どもを中心に据えた青少年健全育成活動の促進と活性化を図る。

連合婦人会は、各地区公民館での女性セミナーなどの講座開催や、地域まちづくり担当の支援などにより、女性の地域リーダーの育成を図る。また、市民協議会などの委員として、女性のより積極的な地域活動やまちづくりへの参画を促進する。

4 まなびの郷みずほに関すること

(1) 高齢者大学について

ア 大学 学生数 115名 (内令和2年度入学者 22名)

イ 大学院 学生数 30名 (内令和2年度入学者 11名)

ウ 課題と今後の取組

大学入学者数については、昨年度が31名、今年度が22名で減少しており、平成26年度以前の平均入学者数(65名)の三分の一程度になってきている。

入学要件の緩和や各種団体への呼び掛け、市広報誌、市記者発表、大学ホームページ、FMみっきいなど、入学生の募集をあらゆる手段で市民に発信するとともに、今年度も学生たちが魅力ある大学生活、大学院生活を過ごすことができるように年間講座カリキュラムの充実を図っている。そして、地域のためにその知識や経験を活かすことのできる人材を、より多く輩出できるように努めていく。

(2) まなびの郷みずほの活用について

高齢者大学や老人クラブ連合会の利用だけではなく、地元地域と市内各地域との交流を図るため、地元団体と施設利用者で構成する「まなびの郷みずほ活用連絡会」が主体となって、例年、細川地区、口吉川地区の児童を対象とした「交流キャンプ」を開催している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「交流キャンプ」は中止となった。

(3) 課題と今後の取組

現在、高齢者大学、老人クラブ連合会、地元団体の利用が中心となっているが、今後、利用団体や小中学校、市民協議会などとのタイアップ、また他地区との団体などとも交流できる事業実施により、より活発な地域間、団体間、世代間交流を促進する。

5 別所ふるさと交流館

(1) 主な事業

- ア 「さとの会」定例会 月1回（会員6名）
- イ 喫茶店営業 コーヒー販売：毎週水曜日から日曜日
- ウ 埋蔵文化財の展示
- エ テニスコート

(2) 課題と今後の取組

地域の管理団体「さとの会」が、地域活性化につながる喫茶店を営業している。

「さとの会」の活動内容を、ポスターやチラシ等で広く市民に周知し、会員の増員と安定した会の運営に努めているが、発足当時10名以上いた「さとの会」会員も徐々に減り、現在の常時活動者は6名にまで減少している。

今後は、会員数の減少、現会員の高齢化により、活動規模を縮小していくことにはなるが、地元市民協議会との連携や協力、他地区イベントなどへの積極的な参加によって、別所ふるさと交流館をPRするとともに、施設利用者の増や活動の活性化を図り、三木市の西の玄関口として賑わいづくりに努める。

6 成人式に関すること

20歳を迎える市内の新成人を祝い励ますとともに、成人としての自覚を促すため、成人式を開催した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策として中学校区で午前の部、午後の部に分け、2部開催で時間短縮の上、実施した。

(1) 実施状況

事業名	実施日	実施場所	参加者
第73回三木市成人式	1月10日	文化会館大ホール	556人

成人式実行委員会 14人

実行委員会開催日 5回開催

(2) 課題と今後の取組

成人式実行委員会については、毎年新成人の中から実行委員を募り、今年度は5回開催している。

現在のところ、実行委員会では、主に成人式でのアトラクションについて話し合っているが、今後はアトラクション以外にも新成人に贈呈する記念品の検討等にも参画をお願いしていく。

令和2年度 学校・家庭・地域の連携協力推進事業 地域学校協働活動一覧

地区	実施場所	実施日	事業区分	対象	人数	事業名	内容	指導者	人数
1 三木	三樹小	R2.10.8、10.9	学習支援	小学生	101	ヨガ教室	児童の心身のケアと健康づくり	地域住民	1
2 三木	三樹小	R2.12.11	学校支援	小学生	60	昔遊び教室	地域老人クラブに指導を受け、昔遊びを体験	地域住民	5
3 緑が丘	緑が丘東小	R3.1.21	学習支援	小学生	63	昔遊び教室	老人会の方と「昔遊び教室」を通して交流	地域住民	5
4 自由が丘	自由が丘小	R2.11.30、12.21 R3.1.25、2.17	学習支援	小学生	214	クラブ活動	クラブ活動の時間に地域の方を指導者として迎え、支援をしていただく。	地域住民	4
5 自由が丘	自由が丘東小	R2.6.22～	学習支援	小学生	56	菊づくり	地域に在住の菊づくり名人の指導を仰ぎながら、5年生児童が菊づくりに挑戦	地域住民	1
6 吉川	みなぎ台小	R2.12.11	学習支援	小学生	12	タブレットを用いた「情報活用型プロジェクト学習」	タブレットを用いての、撮影・編集・発信していく方法の習得を目指す。	地域住民	2
7 三木	三木中	R2.12.3、12.4	学習支援	中学生	129	書道教室	地域住民により書道(毛筆)の導入、基礎の指導	地域住民	1
8 三木南	三木東中	R2.10.24	学校支援	中学生	30	保護者及び生徒による花壇の植栽活動	保護者・地域住民と共に学校の環境美化に努める。	地域住民	25
9 別所	別所中	R2.12.18	学校支援	中学生	70	クリーンキャンペーン	地域住民と共に学校・地域の環境美化に努める。	地域住民	10
10 志染	志染中	R2.9.10、9.17、9.24	学校支援	中学生	38	地域伝承教室	郷土の歴史を学び、ふるさと意識を醸成し地域の将来を担う人材を育成する。	地域住民	1
11 緑が丘	緑が丘中	R2.11.30、12.3、12.8	学習支援	中学生	241	書道講習会	地域住民により書道(毛筆)の導入、基礎の指導	地域住民	1
12 緑が丘	緑が丘中	R2.11.17～23、12.19～27	学校支援	中学生	20	美術部作品制作・展示会	公民館文化祭に作品を展示するため、地域住民の指導を受ける。	地域住民	6

13	自由が丘	自由が丘中	R2.6.15～ R3.2.26	学校支援	図書館 環境整備	中学生	379	図書館開放ボランティア	地域ボランティアによる 図書館環境整備	地域住民	10
14	吉川	吉川中	R2.11.27	学習支援	体験活動支援	中学生	115	地域総合防災訓練	総合防災訓練を行い、地 域の防災士の方々にご講 話いただき、生徒の防災意 識を高める。	地域住民	2

7 市内10公民館の取組

(1) 中央公民館

ア 本年度の活動目標

～こころがふれあう和みのまちづくり～

- ① 生涯学習の充実と多世代が集える「場の提供」の推進
- ② 共生と思いやりの心を育む地域課題に寄り添った人権教育・学習の推進
- ③ 「三木地区ふれあい交流事業推進委員会（ふれっぴー みき）」「三木城下町まちづくり協議会」の地域住民が主体となったまちづくりの支援

イ 成果と課題

- ① 生涯学習の充実と多世代が集える「場の提供」の推進

【成果】 新型コロナ禍ではあるが、7月以降は受講生を半分に減らすなどの工夫をして開催できた。高齢者教室、女性セミナーは、受講生が興味をもち、楽しめる講座であった。乳幼児学級は、保護者達の情報交換の場となった。

【課題】 新たな利用者の開拓や魅力ある講座の開設により公民館の活性化を図ると共に、また多世代のコミュニティの場になるように一層工夫し支援する必要がある。特に、次世代の公民館利用者であるこどもを対象とした企画を検討する必要がある。

- ② 共生と思いやりの心を育む地域課題に寄り添った人権教育・学習の推進

【成果】 新型コロナ禍でも住民学習会が実施できるよう、開催時期の変更、ユーチューブ動画の視聴、啓発DVDの貸出、公民館での啓発DVDの視聴など、様々なメニューを提供した。人権が尊重され明るく住みよい地域づくりを推進する為、各種団体、各種教室を対象に人権研修を実施した。

【課題】 新型コロナ禍での住民学習に取り組むとともに、新たに若年層や外国の人に対しても参加を促すなど、地域に寄り添った身近なテーマでの住民学習の開催などの支援が必要である。

- ③ 「三木地区ふれあい交流事業推進委員会（ふれっぴー みき）」「三木城下町まちづくり協議会」の地域住民が主体となったまちづくりの支援

【成果】 新型コロナ禍で、ほとんどのイベントが中止となった。昨年度に引き続き、区長協議会を含めた市民協議会の情報交換の会議が開催でき、市民協議会の在り方などの協議ができた。

【課題】 持続可能な市民協議会となるような組織を検討や、地域住民が主体となったまちづくりに向けたキーパーソンの発掘と支援が必要。

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

- ① 高齢者の生きがいつくりや交流の場（機会）の提供と利用、多世代が同じイベントを通してふれあえる企画の充実と情報発信の工夫
- ② 新たな人権課題や地域課題を主導的に取り組む人権教育・学習の推進
- ③ 「三木地区ふれあい交流事業推進委員会（ふれっぴー みき）」・「三木城下町まちづくり協議会」の地域住民が主体となったまちづくりの支援

(2) 三木南交流センター

ア 本年度の活動目標

～交流と学びの充実、そして人に優しく活気あふれる三木南地区に～

- ① 「三木南ふれあいプロジェクト」と連携した住みよいまちづくり活動の推進
- ② 学びの充実と世代を越えた交流の推進
- ③ 人にやさしい人権教育・啓発活動の推進
- ④ 生涯スポーツを通じた仲間づくりと健康づくりの推進

イ 成果と課題

- ① 「三木南ふれあいプロジェクト」と連携した住みよいまちづくり活動の推進

【成果】 コロナ禍が続く中、「プロジェクト」が実施する参集型イベントの多くが中止または延期となった。しかし、地域の課題解決に向けて活動する「暮らし生活部会」は部会員の強い意志により、感染拡大防止対策を取って事業を継続している。現在は、「認知症予防プログラムの実践」と「地域内バス交通の検討」といった全ての住民に共通するテーマについて関係者の協力を得て実施し、参加者から大きな共感を得ている。

【課題】 With コロナと高齢化進行の中、身近な課題を解決して健康に暮らし続けるためには住民の主体的な行動と支え合いが必須となる。

- ② 学びの充実と世代を越えた交流の推進

【成果】 “楽しく学び、楽しく交流”を基本としながらも、多人数による密集を避けつつ定員を設けるなどして各種セミナーを実施した。また、自主サークルに活動の場を提供するとともにその運営を支援した。

【課題】 立案と運営に会員自身の参画をいっそう求めるとともに、魅力ある内容を企画できる担当者の指導力向上が重要である。

- ③ 人にやさしい人権教育・啓発活動の推進

【成果】 コロナ禍において、全体会議や事前研修は書面等により実施したものの各自治会での住民学習はDVD教材の視聴研修という方法で行った。

教材視聴は各自治会での役員会開催時とともに各家庭での視聴も取り入れるなど幅広い人に学ぶ機会が提供できた、

【課題】 参集型の研修会が実施できなかったため、家族単位での研修の効果と成果については今後を検証する必要がある。

- ④ 生涯スポーツを通じた仲間づくり・健康づくりの推進

【成果】 三木南交流センターを拠点に多くのスポーツ団体が活動することで様々なスポーツの機会が提供できた。また、地域スポーツクラブと連携してスポーツの振興を図ることができた。

【課題】 多くのスポーツ愛好者の持つ多様なスポーツニーズに対応できる体制づくりが重要である。

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

コロナ禍において安全安心を徹底した公民館事業及びまちづくり活動の推進。

(3) 別所町公民館

ア 本年度の活動目標

～ 人と人とのつながりのある地域づくり ～

- ① ライフステージに対応した講座の充実と地域課題・社会情勢に直結した生涯学習の推進
- ② 人権尊重のまちづくりをめざし、館内外における人権啓発の推進
- ③ 自主防災組織のさらなる活性化に向けた支援
- ④ まちづくり協議会や各種団体と協働し、地域づくりとまちのにぎわいづくりを支援

イ 成果と課題

- ① ライフステージに対応した講座の充実と地域課題・社会情勢に直結した生涯学習の推進

【成果】 「だしソムリエに聞くおだしの話」、「レザータウン姫路館外研修」を開催、比較的若い世代にも対応した生涯学習講座が新たに実施でき、地域住民に学びの機会を提供することができた。

【課題】 乳幼児教育学級については、募集を凶ったが、参加者が少なく開催できなかった。次年度は、募集方法の工夫をしていく必要がある。

- ② 人権尊重のまちづくりをめざし、館内外における人権啓発の推進

【成果】 住民学習では、啓発ビデオを地区集会所で視聴する方法に加えて、啓発動画をユーチューブにより各家庭で視聴する方法を取り入れ実施することで、新型コロナ感染状況下であったが、全地区で住民学習を開催できた。

【課題】 住民学習会の参加者の年齢層が高齢化の傾向があるが、ユーチューブを使った住民学習では、これまで参加の少なかった若い世代の参加を促す一定の効果がみられたので、これを機に若い世代でも参加しやすい形式を提供していく。

- ③ 自主防災組織のさらなる活性化に向けた支援

【成果】 別所まちづくり協議会と連携を凶り、新型コロナ感染症に対応した災害時の避難所運営の研修を行なった。

【課題】 災害初動時の安否確認、在宅避難者の把握、新型コロナ感染症に対応した避難所受付など研修を行なっていく必要がある。

- ④ まちづくり協議会や各種団体と協働し、地域づくりとまちのにぎわいづくりを支援

【成果】 別所町まちづくり協議会に、議決機関として運営委員会を置き、また事業をすすめるために、企画委員会、専門部会を置き、役員だけでなく多くの住民の参画を得ながら、地域課題の解決に向けた話し合いや取り組みを進めている。

【課題】 役員に交代があっても、長期的な展望を持って取り組むことのできる引継ぎ体制が必要である。

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

- ① ライフステージに対応した生涯学習の推進と教室、講座の充実
- ② 新型コロナ感染症に対応した人権教育・啓発の推進
- ③ 別所まちづくり協議会を中心とした地域交流とまちづくり事業への支援

(4) 志染町公民館

ア 本年度の活動目標

～ ころろ通う、人がやさしいまちづくり ～

- ① 「志染ふれあい委員会」の地域づくり活動を支援
- ② ライフステージに対応した生涯学習の推進
- ③ 人権教育・啓発の推進

イ 成果と課題

① 「志染ふれあい委員会」の運営を支援

【成果】 委員会は、まちづくりの推進とふれあいや交流のために、事業計画を立案したが、コロナ禍で事業計画の町民納涼大会・敬老会・三世代交流グラウンドゴルフ大会等が中止になった。町民文化祭と地域防災訓練は規模縮小等でコロナ感染防止対策して開催出来た。

【課題】 中止になった納涼大会や敬老会など、会食なしで密を避けて運営する方法を地域で再検討したい。そして委員会メンバーの多くが毎年交代しているため、継続的取組になるような支援も必要である。その状況で少子高齢化の課題についても部会で検討が始まった。

② ライフステージに対応した生涯学習の推進

【成果】 高齢者教室や乳幼児教育学級、女性セミナー、専門講座などの生涯学習講座の開催をはじめ、「ふれあいサロンしじみ」「ふれあいコーラス」「菊づくり講座」など、各層・各年代に合わせた学びや交流、そして生きがいづくりの活動拠点となった。

【課題】 コロナ禍を受け、6月末まで公民館主催講座を中止した。その後、内容に偏りができた講座もあった。また乳幼児でも他館との交流を控えた。こういう時の他館との交流方法、年代範囲を広げる学習講座への工夫、地域ニーズの把握ための参加者へのアンケートも試みたい。

③ 人権教育・啓発の推進

【成果】 13の全自治会住民学習会開催や、地域づくり研究大会、館外人権研修などが実施できた。主催講座で人権的講座は中止になった。人権啓発コーナーの設置、公民館ロビーでの小中学生ポスター展なども行った。

【課題】 住民学習会や地域づくり研究大会・人権研修などで、コロナ感染防止を踏まえた開催・実施方法の工夫の検討が大きな課題である。

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

- ① 「志染ふれあい委員会」の自主的活動に向けての支援
- ② 参加者と地域のニーズの把握に努め、魅力的な生涯学習の開催と充実
- ③ 人権教育・啓発の推進

(5) 細川町公民館

ア 本年度の活動目標

～公民館で 学ぼう！ 集まろう！ 繋がろう！ 広げよう！～

- ① ライフステージ・地域課題・社会情勢に対応した生涯学習の推進
- ② 人権尊重のまちづくりをめざした人権教育・啓発の充実
- ③ 町づくり協議会と連携した公民館利用促進と地域コミュニティ形成事業の充実

イ 成果と課題

- ① ライフステージ・地域課題・社会情勢に対応した生涯学習の推進

【成果】 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、多くの講座が延期・中止・内容変更を余儀なくされる一方で、コロナ禍における感染防止対策を施した開催方法や参加者のニーズにそった講座内容の見直し・工夫を行うことができた。

【課題】 コロナの影響で参加者数は減少傾向にあるが、安全性を担保しながら一定数の参加を促すための広報活動や内容の充実が必要である。

- ② 人権尊重のまちづくりをめざした人権教育・啓発の充実

【成果】 今年度は、三密を回避するため、住民学習の開催方法を、原則、DVDの全戸回覧とした結果、537名の参加者があり、(町人口の28.2%、前年比11.4ポイント増)、特に若い世代や女性の参加者が増加した。

推進大会は規模を縮小して開催することができた。公民館の「ゆとり講座」「高齢者教室」「登録団体連絡会」で人権研修を実施し、人権課題についての意識の高揚につなげることができた。

【課題】 DVDの全戸回覧により例年以上の参加者があり、家庭内での意見交流の場は創出できたが、指導者からの指導・助言がなく、人権学習の深まりに欠けるという課題が残った。来年度は、可能であれば従来のように各自治会公民館での開催形式に戻し、密を回避するため複数回に分けて開催するなど、住民学習の工夫・改善に努めていきたい。

- ③ 町づくり協議会と連携した公民館利用促進と地域コミュニティ形成事業の充実

【成果】 「細川地区住民つながり計画」にそって、「(仮称)細川地域学校」の令和3年6月開校にむけて運営委員や学校名の公募を行うなかで、地域活性化に取り組む新たなリーダーの発掘、地域の方々の思いが見えてきた。また、公民館の情報発信機能を強化するため、町づくり協議会と連携し、インターネット・Wi-Fi環境の整備、ホームページ立ち上げ、ユーチューブによる動画配信等の計画を進行中である。

【課題】 今年度は、新型コロナの影響で、公民館を会場とする夏まつり、町民文化祭等の行事が中止・規模縮小となり、町民の交流機会が減少した。今後も、コロナ禍における地域行事の開催方法・内容・感染対策等の見直しに積極的にいかかわっていきたい。

(6) 口吉川町公民館

ア 本年度の活動目標

～ “大家族” みんながつながる公民館～

- ① 「口吉川ふれあいまちづくり協議会」の自主自立した運営の支援
- ② 人権尊重のまちづくりを推進
- ③ 地域にあった生涯学習事業の推進

イ 成果と課題

- ① 「口吉川ふれあいまちづくり協議会」の自主自立した運営の支援

【成果】 例年、協議会を中心に「盆踊り大会」、「町民文化祭」や「防災訓練」を開催し、町民相互の交流と親睦を図るところであるが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、いずれのイベントの開催も中止となった。一方、「ふれあいバス」の運行は、月～金の間実施することができ、一人暮らし高齢者等を支援する友愛訪問活動も実施した。

【課題】 「ふれあいバス」の継続運営にむけた会員確保を図る。また、諸事業への参加者の増加をめざす。

- ② 人権尊重のまちづくりを推進

【成果】 コロナ禍の中、口吉川テレビでDVDを放映し、各自宅で人権意識の向上を図ることができた。高齢者を対象とした人権学習会を実施した。また、口吉川地推協人権館外研修（姫路市「レザータウン姫路革の里」他を視察）を実施した。

【課題】 指導者、リーダーの資質の向上や会の充実を図り、特に若い世代への参加を呼びかける。公民館の利用団体に対する啓発に努める。

- ③ 地域にあった生涯学習事業の推進

【成果】 乳幼児学級、女性セミナー、高齢者生きがいセミナー等を開催し、ふれあいや交流を深めた。

【課題】 乳幼児学級や専門教室への参加が減少し、女性セミナー、高齢者セミナーは受講者が固定化しつつある。より多くの参加を図るため、参加者の意見を取り入れ、学習内容を見直し魅力ある講座を開催する。

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

- ① 地域課題の解消に向け、地域で活躍している各種団体との連携を図り、まちづくり協議会の自主自立した運営と活動の支援
- ② 人権尊重のまちづくりを目指し、住民学習を中心とした人権教育、啓発の推進を図り、子ども会、学校PTA等団体への呼びかけや参加の促進
- ③ 高齢者をはじめ、各世代が自由に集える魅力ある生涯学習の展開

(7) 緑が丘町公民館

ア 本年度の活動目標

～ 人と人のつながりをまちの力に ～

- ① 地域課題の学習と多世代が参画する生涯学習の推進
- ② 高齢者を支え、子育てを支援するコミュニティづくり
- ③ 緑が丘まちの再生事業の推進
- ④ 人権尊重のまちづくりの推進

イ 成果と課題

- ① 地域課題の学習と多世代が参画する生涯学習の推進

【成果】生涯学習講座においては、フレイル予防や防災などの必要課題のテーマとともに、ウィルス感染予防など直近の課題のテーマも取り入れ、内容を工夫し、参加者が増えるように開催した。また、コロナ禍のため、子ども対象の事業が減る中、親子参加の企画を取り入れて若い世代の参加者の増加を図った。

【課題】必要課題をテーマとした講座への参加促進。
多世代交流による生涯学習事業への参画促進。

- ② 高齢者を支え、子育てを支援するコミュニティづくり

【成果】高齢者の孤立を防ぐため、老人クラブが中心となった独居老人宅への訪問活動や、ボランティアグループによる認知症の方と家族のための支援活動など、コロナ禍の中、可能な範囲で取組を進めている。また、子育て中の親と子どもが気軽に集う交流サロンでは、子ども向けイベント等を企画することにより親子での参加者が増えた。

【課題】コロナ禍の中、高齢者の孤立を防ぐ活動の推進。
子育てしやすいまちづくり。

- ③ 緑が丘まちの再生事業の推進

【成果】生涯活躍のまち推進機構や関西国際大学と連携した地域活性化のための各種事業の支援を行った。今年度の調査では、5年前と比較し、緑が丘地区の空地・空家の減少と子育て世代の増加が確認され、若い世代の流出に歯止めがかかり、定住が進んでいると思われる。

【課題】民間事業者とともに地域住民が主体となった事業の推進。

- ④ 人権尊重のまちづくりの推進

【成果】コロナ禍のため、各自治会による住民学習会の開催が減り、各事業の参加者も少ない状況ではあったが、施設訪問による人権視察研修や、コロナ感染を起因とする偏見や差別を無くすことをテーマとした講座の開催など、感染防止対策により可能な範囲で事業を実施し、内容の充実を図った。

【課題】地域住民の交流や体験学習など、出会いと学び合いによる人権学習の推進

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

- ① 地域課題解決のための活動団体や人材の育成と活動支援
- ② 若い世代と高齢者の参画による生涯学習の推進
- ③ 高齢者の孤立を防ぎ、高齢者を思いやる人権意識の高揚

(8) 自由が丘公民館

ア 本年度の活動目標

～住み続けたいまち自由が丘をめざし、ふれあいを大切にする活力ある公民館～

- ① 生涯学習機会の充実
- ② 地域コミュニティの活性化
- ③ 自由が丘市民協議会の運営支援
- ④ 人権尊重のまちづくりの推進

イ 成果と課題

① 生涯学習機会の充実

【成果】 講座ごとに実施後アンケートを行い、受講者のニーズを把握し、企画・改善を図るようにした。アンケート結果では、受講者の肯定的評価がどの講座も90%以上だった。ただ、新型コロナウイルス感染防止のため、中止とした講座があった。また、小学生を対象にサマースクールとしてポスター教室や卓球教室のほか、「夏休み自由っ子未来塾」を計画していたが、中止せざるを得ない状況だった。

【課題】 新型コロナウイルス感染防止策を図りながら、住民のニーズを取り入れた学習機会の提供と社会総がかりで、未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動を広げていくこと。

② 地域コミュニティの活性化

【成果】 自主活動グループを支援し、活動も縮小しながらも継続できた。

【課題】 新型コロナウイルス感染防止のため、イベント等ほとんど開催することができず、ポストコロナ社会における地域コミュニティを図っていくこと。

③ 自由が丘市民協議会の運営支援

【成果】 「くらし・生活部会」「駅前&交通部会」の2部会で地域課題のテーマを決め、地域の課題についての検討協議が進んだ。

【課題】 自由が丘市民協議会が一層主体的に活動を推進し、地域課題について、協議・対応していく仕組み作りを進めていくこと。

④ 人権尊重のまちづくりの推進

【成果】 コロナ禍ではあるが、地推協を中心に13自治会での住民学習会、各種団体への人権啓発DVD視聴を計画し、住民が参加できた。

【課題】 あらゆる世代に人権学習の機会を設け、一人でも多く参加者を増やしていきながら、人権意識の高揚が図れるように工夫していくこと。

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

- ① 社会総がかりで、未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動を広げていくこと。
- ② 自治会、市民協議会と連携し、地域課題を共有し、住民自らで解決できるようなまちづくり活動に向けての支援
- ③ 少子高齢化に向けて、住民学習を中心としながら、あらゆる学習機会を通じ工夫しながら人権尊重のまちづくりを推進

(9) 青山公民館

ア 本年度の活動目標

～多世代が気軽に集い、地域の交流拠点となる公民館～

- ① まちづくり協議会が取り組む、地域課題解決に向けた活動への支援
- ② 受講者が興味を持って参加できる生涯学習事業の実施
- ③ 人権尊重のまちづくりの推進
- ④ 多世代が集いやすい環境整備と世代間交流の推進

イ 成果と課題

- ① まちづくり協議会が取り組む、地域課題解決に向けた活動への支援

【成果】 住みよいまちづくりの実現をはかるために設立された部会（防犯、子育て支援、人権、広報）により、地域課題解決に向けての取組が進められている。2つある子育て支援事業のうち、一つはコロナの影響で今年度は、一度も開催できていない。

【課題】 コロナ禍でも有効な事業が実施できるような工夫を凝らすことが必要である。

- ② 受講者が興味を持って参加できる生涯学習事業の実施

【成果】 乳幼児学級は季節行事や親子交流を深める内容を企画。女性セミナーは健康に関する講座、正月飾りや薬膳の学習など女性の関心が高い内容を実施している。また、高齢者教室は健康や人生設計に関する講座などを実施した。

【課題】 新たな参加者を開拓していくため、他館の取組も参考に周知方法を工夫し啓発に努める。

- ③ 人権尊重のまちづくりの推進

【成果】 まちづくり協議会の人権部会「青山ふれあいネット」が人権学習の推進役を担い、各種セミナーや講座などを開催している。多文化共生講座は継続し、新たに認知症への理解を深める講座を組込むなど、明るく住みよい地域づくりの推進に寄与している。

【課題】 コロナ禍ではあるが、地域住民が参加しやすいテーマを設定したセミナーや啓発講座を開催し、人権意識の高揚につなげていく必要がある。

- ④ 多世代が集いやすい環境整備と世代間交流の推進

【成果】 コロナで閉館していた時期を除き、子どもから高齢者まで、地域の交流拠点として、連日多くの来館者で賑わいをみせている。

【課題】 来館者が多い中でも、どうしても若年層、現役世代の利用者が少なく、そうした世代の来館を促す工夫が必要である。

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

- ① まちづくり協議会が取り組む、地域課題解決に向けた活動への支援
- ② コロナ禍でも受講者が興味を持って参加できる生涯学習事業の実施
- ② 青山ふれあいネットを中心とした人権学習の推進
- ③ 現在の感染対策を継続し、多世代が集いやすい環境整備と世代間交流の推進

(10) 吉川町公民館

ア 本年度の活動目標

～ いきいきと 心ふれあうまち ～

- ① 吉川町まちづくり協議会による地域課題解決に向けた取組への支援
- ② よかわふるさと交流推進協議会の「交流の場づくり」と「活動」の支援
- ③ 少子高齢化社会における生涯学習ニーズの的確な把握と事業展開
- ④ 人権尊重のまちづくりの推進と吉川町独自の取り組み

イ 成果と課題

- ① 吉川町まちづくり協議会による地域課題解決に向けた取組への支援

【成果】 コロナ禍によりイベント事業が全て中止となる中、各部会に新たな地域課題を割り振り、部会毎の運営を進めることが出来た。部会長を中心とする自主的、主体的な活動及び行政との協働の運営が行われた。

【課題】 さらなる住民による住民の為のまちづくりに対する取組みが望まれる。地域課題を探究するとともに、さらに地域住民に理解が得られる活動の展開が必要である。

- ② よかわふるさと交流推進協議会の「交流の場づくり」と「活動」の支援

【成果】 コロナや耐震工事中のため従来の「ふれあい喫茶」の機能は十分活かせなかったものの、事業展開の切り替えを早期に行い、休むことなく運営を継続することが出来た。

【課題】 今後の拠点施設の活用や交流事業の継続が課題となっている。また、そのために運営スタッフの確保、吉川町まちづくり協議会との連携が重要となる。

- ③ 少子高齢化社会における生涯学習ニーズの的確な把握と事業展開

【成果】 子どもから高齢者まで生涯学習の場を提供し、まちづくりへの参加につなげていく予定であったが、新型コロナ及び耐震工事により、未実施となった。

【課題】 若年世代や男性の学習ニーズの把握と学習機会の提供、地域の世代間交流の場の提供とともに、今後のまちづくりへの理解を深め、主体的・積極的な地域活動の支援が必要である。

- ④ 人権尊重のまちづくりの推進と吉川町独自の取り組み

【成果】 コロナ禍により多くの事業が中止となった、住民学習においても3密を避け、小規模での実施を推奨、その結果各戸持ち回りによりDVDを鑑賞し家族で人権の話し合いをする場ができたなどの意見もあった。

【課題】 市内最大の46地区を対象に、住民学習を実施する上で、コロナ禍においても、効果的な学習ができる方法を検討する必要がある。

ウ 来年度に向けた活動方針案 (案)

- ① 地域資源を活用した講座の開設
- ② 吉川町まちづくり協議会の地域課題の解決に向けた取組の支援
- ③ 交流事業並びに人権尊重にかかる事業の充実

文化・スポーツ課

1 令和2年度 社会教育事業実施状況

(1) 文化・芸術団体の活動支援

文化活動への参加促進を図るため、三木市文化連盟をはじめとした文化・芸術団体の事業活動を支援し、運営に係る事務補助や活動成果の発表機会確保として、芸能祭・市民合唱祭・吹奏楽祭・さつき展・菊花展などを、また、創作活動の継続と意欲の向上を図るため、一般を対象とした「三木市展」や、園児から高校生までを対象とした「みなぎの書道展」の公募展を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、芸能祭・市民合唱祭・吹奏楽祭・さつき展はやむを得ず中止した。

(令和3年1月31日現在)

事業名	開催日	会場	参加者数
三木市の花「さつき」展覧会	中止	道の駅みき 山田錦の館	
第34回三木市吹奏楽祭	中止	文化会館 大ホール	
墨華香るまちフェスティバル 第36回みなぎの書道展	10月2日～ 11日	吉川総合公園 パストラルホール	2,535人
第59回三木市菊花展覧会	10月20日～ 11月14日	文化会館前	約500人
第43回三木市民合唱祭	中止	文化会館 大ホール	
金物まつり協賛芸能祭	中止	文化会館 大ホール	
第34回三木「第九」演奏会	中止	文化会館 大ホール	
青少年芸術祭2020 第28回三木市アンサンブル コンサート	1月11日	文化会館 小ホール	174人
三木市展	2月4日～ 7日	かじやの里 メッセみき	

【課題】

少子高齢化の進行に伴い、地域の文化を支える人材が減少しており、これまで培ってきた文化芸術の維持、継承が困難となることが懸念される。次代を担う人材育成など、文化芸術活動の裾野を広げることが必要である。

(2) 顕彰事業（三木市文化芸術賞）

選考委員会で受賞者決定し、3月に表彰式を開催予定。

(3) 歴史・美術の杜構想の推進

史跡三木城跡及び付城跡・土塁を情報発信することで、「みき歴史・美術の杜みゅーじあむ」として歴史を継承し、市民の憩いの場を創出し、まちの活性化に繋がる取組を実施した。

① 「みき歴史資料館」の運営

みき歴史資料館は、

- ・歴史資料の散逸を防ぎ、調査研究の成果を公開する「時空（とき）の拠点」
- ・市内外の方々が気軽に訪れることができる「まちおこしの拠点」
- ・三木の歴史文化をアピールし、リピーターを拡大する「情報発信の拠点」

をコンセプトに、「みき歴史・美術の杜みゅーじあむ」の中核施設として、常設展示・企画展示を行った。

ア みき歴史資料館入館者状況（令和3年1月31日現在）（単位：人）

項目	入館者数
入館者数（常設展示）	7,144
企画展示	4,737
館内イベント参加者数	0
特別講演	0
一般公演	0
館内イベント	857
館外イベント参加者数	857
利用者合計	7,144

みき歴史資料館では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4月9日～5月31日まで臨時休館とした。

イ 歴史ウォーク（史跡見学会）

新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、実施しなかった。

ウ 企画展及び特別講演会の実施

企画展を4回予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4月9日～5月31日まで臨時休館としたことに伴い、企画展を3回に変更した。特別講演会は、3月6日に実施を予定している。

(令和3年1月31日現在)

会 期	企 画 展 名	入館者数
6月1日～8月10日	タイコと三木	1,790人
9月26日～12月6日	別所町の遺跡	2,601人
1月16日～3月21日	三木町の地子免許特権と義民の『記憶』	346人

エ 歴史講座・体験教室の実施

新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、実施しなかった。

② 史跡内の除草・雑木伐採等の維持管理や清掃等

史跡内の環境整備や雑木、下草の伐採、危険木の除去を適宜行う。

③ ふるさと三木の歴史学習

新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、実施しなかった。

【課題】

「みき歴史・美術の杜みゅーじあむ」のインフォメーション施設としてまちの賑わいづくりを担うには、市民が参画する「まちおこし」の仕組みを作る必要がある。

2 令和2年度 社会体育事業実施状況

(1) ニュースポーツ大会及び市内外の交流事業の実施

スポーツ推進委員とともに、子どもや高齢者、障がい者など、いろいろな事情により、普段からスポーツをしていない人でも、気軽に楽しむことのできるニュースポーツの大会として、ふれあいスポーツデー、スナッグゴルフ大会等を例年計画している。

残念ながら、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、計画されていたほとんどの事業が中止・延期となっている。

また、東京オリンピックにおいてはフランスの陸上競技代表チーム、東京パラリンピックにおいてはフランスの陸上競技代表チーム、ネパールのテコンドー代表チームのホストタウンとして、直前合宿を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、1年の延期となっている。

期 日	内 容	会 場	人数
5月 3日	ふれあいスポーツデー (中止)	三木ホースランドパーク	-人
5月16日	スナッグゴルフペア大会 (中止)	三木ホースランドパーク	-人
7月・8月	オリンピックフランス陸上 競技代表チーム	県立防災公園 三木ホースランドパーク	-人

期 日	内 容	会 場	人 数
	パラリンピックフランス陸上競技代表チーム パラリンピックネパールテコンドー代表チーム 直前合宿受入れ(中止)		
11月21日	小学生スナッグゴルフペア大会(中止)	三木ホースランドパーク	- 人

【課題】

活動規模縮小や自粛されている各スポーツ競技団体に対し、スポーツ庁のガイドラインを踏まえ、感染症対策をとりつつ活動の再開・継続に向けて、適切な情報提供や助言指導を行う。

(2) 第28回みつきいふれあいマラソン

令和3年3月7日開催予定（令和4年3月6日に延期）

(3) スポーツクラブ21交流事業

「スポーツクラブ21の充実」として、スポーツクラブ21の情報提供とスポーツクラブ間の交流が県内・市内で計画されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ほとんどの事業が中止となっている。

【課題】

「スポーツクラブ21」の過去5年間の会員数は、地域差はあるものの減少傾向にある。また、会員数の減少に伴い、自主財源の確保が困難となっている。

全国的に「スポーツクラブ21」の認知度が低いことから、勧誘活動や事業実施に向けたPR不足が各クラブ共通の課題といえる。クラブへの入会促進を目的とした体験事業の開催や、クラブ間交流事業の増加など、各クラブの活性化が必要である。

(4) 市民スポーツ教室

（公財）スポーツ振興基金では、バレーボール強化練習会や少年スポーツ大会を開催している。体育協会と連携、協力してジュニアソフトテニス教室、ジュニア陸上競技教室、水泳選手強化練習会などを開催し、競技レベルの向上や人材育成に努めた。

令和2年度練習会等実施状況

教室名（時間）	期間	会 場	指導者等	人数 （回数）
ジュニアソフトテニス教室（中止）	4月～6月	三木山総合公園 テニスコート	三木市ソフトテニス協会指導員	—
ジュニア陸上競技教室（中止）	5月～7月	三木山総合公園 陸上競技場	三木市陸上競技協会指導員	—
少年スポーツ大会（陸上の部）（中止）	6月9日	三木総合防災公園 陸上競技場	—	—
ジュニアソフトテニス教室	7月～9月	三木山総合公園 テニスコート	三木市ソフトテニス協会	10人 （10回）
バレーボール強化練習会（中止）	8月2日	三木山総合公園 総合体育館	デンソーテン女子バレーボール部	
ジュニア陸上競技教室	9月～11月	三木山総合公園 陸上競技場	三木市陸上競技協会指導員	50人 （10回）
少年スポーツ大会（陸上・卓球・柔道を除く7種目）	11月15日他	市内体育施設	—	507人

(5) テニスの振興

市内の貴重なスポーツ資源であるブルボンビーンズドームや三木山総合公園テニスコートを活用し、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西に向けての PR 事業として「テニス教室」を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西自体も1年の延期となり、「テニス教室」を実施できなかった。

(6) 社会体育派遣事業

事業内容	月 日	場 所	結 果
兵庫県郡市区対抗駅伝競走（中止）	2月7日	三木市防災公園 陸上競技場	—

(7) 顕彰事業（表彰式：令和3年2月20日 教育センター）

スポーツ賞個人の部

優秀選手賞 2名

奨励賞 4名

スポーツ賞団体の部
 優秀賞 1 団体
 奨励賞 3 団体
 教育功労賞
 (スポーツ部門) 1 1 名

3 令和2年度美術館事業実施状況

市立堀光美術館では、市内芸術団体のほか、市内外の芸術家の作品展や公募展など、企画展を14回予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4月9日～5月31日まで臨時閉館とした。開館後も新型コロナウイルス感染症対策のため、前期に予定していた企画展を来年度に延期することにし、6月以降は常設展示のほか、延期になった展覧会の作品の一部を集めて展示する「『延期になった展覧会』の紹介展」を開催した。また、後期に予定されていた7回の企画展を開催した。

(1) 展示事業

(令和3年1月31日現在)

会 期	展 覧 会 名	入館者数
6月2日～7月3日	常設展示	182人
7月4日～9月22日	『延期になった展覧会』の紹介展	587人
10月1日～10月28日	五次勝木彫展	440人
11月1日～11月15日	2020 秋の木版画展	420人
11月20日～12月6日	劉素真 墨彩画展	848人
12月11日～12月26日	第45回 グループしぶがき展	551人
1月8日～1月31日	高田哲男展 ドローイング&アーツ	471人
2月5日～2月21日	藤原昌代展～禍福は糾える縄の如し～	
2月27日～3月21日	本間敦子展“一枚の白布と語いながら”	
計		3,499人

【課題】

市内外への情報発信を図り、優れた芸術鑑賞の場として美術館の周知と集客を図る。良質な作品、作家による展覧会及び芸術的環境の整備を推進し美術館をさらに充実させること。

アクセスの分かりにくさ、エレベーターがないことによるバリアフリーの欠如が課題となっている。

4 令和3年度 社会教育施策実施予定

(1)文化・芸術活動の推進事業

No.	事業名	予定日	予定場所	備考
1	三木市の花「さつき」展覧会	6月初旬	道の駅みき、山田錦の館	
2	第35回三木市吹奏楽祭	7月下旬	文化会館大ホール	
3	墨華香るまちフェスティバル 第37回みなぎの書道展	10月上旬 ～中旬	吉川総合公園 パストラルホール	
4	第60回三木市菊花展覧会	10月下旬 ～11月上旬	文化会館前	
5	第44回三木市民合唱祭	10月下旬	文化会館大ホール	
6	第34回三木「第九」演奏会	12月中旬	文化会館大ホール	
7	第68回三木市展	2月上旬	かじやの里メッセみき	
8	みき演劇セミナー第二十四発 「わがまちシリーズ第17弾」	3月中旬	文化会館小ホール	

(2)文化財の保護・啓発

No.	事業名	予定日	予定場所	備考
1	歴史美術の杜推進事業 歴史ウォーク 企画展 三木城の縄張り 描かれた三木合戦の城郭～木内内則 作品展～ 地域の史料たち5～三木の染形紙～ 兵庫県立歴史博物館巡回展 歴史講座・体験教室・ワークショップ 歴史資料館協議会	4月～3月 5月5日～7月4日 7月31日～10月3日 11月6日～1月16日 2月19日～3月21日 随時 年2回	国史跡三木城跡及び 付城跡・土塁 他 みき歴史資料館 みき歴史資料館 みき歴史資料館 みき歴史資料館 みき歴史資料館 みき歴史資料館 みき歴史資料館	
2	文化財保護審議会	年2回	みき歴史資料館	
3	埋蔵文化財発掘調査事業 ①開発等にかかる緊急調査	随時	市内	
4	古墳等維持管理事業 ①古墳管理地管理業務 ②国史跡地管理事業	随時 随時	正法寺古墳公園、愛宕山 古墳、与呂木青葉台古 墳、有安2号墳 史跡の付城跡群	
5	埋蔵文化財展示公開事業 別所ふるさと交流館文化財展示室公開	通年	別所ふるさと交流館	
6	講師派遣事業	随時		
7	文化財実態調査事業	通年	市内	石造品

(3)文化関係団体の育成及び活動支援

No.	事業名	予定日	予定場所	備考
1	文化団体事業活動支援 ①三木市盆栽協会活動支援 ア 別所公春まつり協賛盆栽展 イ 金物まつり協賛秋季盆栽展 ②三木市美術協会活動支援 ア 美術協会部会展 イ 美術協会展 ③三木市文化連盟活動支援 ア 別所公春まつり協賛事業 イ 金物まつり協賛事業 ウ 東播磨文化団体連合会事業 ④三木市吹奏楽連盟活動支援 ア 第29回アンサンブルコンサート	5月上旬 11月上旬 5月予定 9月予定 5月上旬 11月初旬 7月～3月 1月予定	中央公民館 文化会館コミュニティホール 堀光美術館 三木南交流センター 上の丸公園他 文化会館大ホール他 東播磨各市町 文化会館小ホール	献花、献茶 芸能祭ほか
2	地域文化財総合活用推進事業支援	4月～3月	市内	

5 令和3年度 社会体育事業実施予定

月	事業名
4月	
5月	ふれあいスポーツデー（3日） 三木ホースランドパーク ジュニア陸上競技教室 前期 全10回 三木山総合公園 スナッグゴルフペア大会（17日） 三木ホースランドパーク
6月	少年スポーツ大会（陸上の部）（13日） 三木総合防災公園
7月	オリンピック フランス陸上競技選手団直前合宿（7月中旬～8月上旬予定）
8月	パラリンピック 聖火ビジット（12日～14日）三木山総合公園他 パラリンピックフランス陸上競技選手団直前合宿（中旬予定） パラリンピックネパールテコンドー選手団直前合宿（22日～28日予定） バレーボール選手強化練習会（未定）三木山総合体育館 三木市・垂井町交流会
9月	ジュニア陸上競技教室 後期 全10回 三木山総合公園
10月	
11月	少年スポーツ大会（21日他） 三木山総合公園他 スナッグゴルフ小学生オープン大会（未定）ホースランドパーク
12月	スナッグゴルフ親子（ペア）大会（5日）ホースランドパーク
1月	市民駅伝大会（8日）三木総合防災公園
2月	スポーツ賞表彰式（19日） 教育センター
3月	みっきいふれあいマラソン（6日） 三木総合防災公園
備考	ジュニアソフトテニス教室 年間全20回 三木山総合公園 ワールドマスターズゲームズ2021 関西の1年前イベントも開催予定

6 令和3年度 美術館事業実施予定

(1) 展示事業

No.	期 間	種 類	展示会名	内 容
1	4月3日～5月9日	特別企画展	柳本富子の足音	日本画
2	5月15日～5月30日	企画展	三木市美術協会 日本画・書部会展	日本画・書
3	6月5日～6月27日	特別企画展	木彫フォークアートおおやin三木	木彫
4	7月4日～7月19日	企画展	小松原ケンスケ個展 ～はじけるミクストメディア～	造形芸術
5	8月3日～8月17日	企画展	第1回 アート・ティーン公募展	絵画、木彫
6	8月28日～9月26日	特別企画展	こころのカタチ～日本画 雲丹亀利彦 展	日本画
7	10月2日～10月31日	企画展	白井翔平 彫刻展	石彫
8	11月6日～12月5日	企画展	水田陽子 日本画展	日本画
9	12月10日～12月26日	企画展	第45回グループしづがき展	絵画、書、写真、 工芸等
10	1月8日～1月30日	企画展	織 二人展	染織
11	2月上旬～2月下旬	企画展	作品展	現代芸術 エコロジカルア ート
12	3月上旬～3月下旬	企画展	書展	書

教育センター

1 生涯学習に関すること

(1) いじめ・不登校を考えるフォーラム

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。

(2) 中高年コンピュータ教室 11月第2週 参加者延べ24人 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加人数を制限して実施した。

(3) 第27回三木市CGアートコンテスト

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため本年度は募集しなかった。

2 青少年教育に関すること

三木市野外活動連絡協議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。

3 青少年の非行防止と健全育成に関すること

(1) 補導活動

・役員による深夜補導（2カ所×5回／年）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を自粛

・班ごとの深夜補導 市内11地区

回数 234回 延べ 1,346人参加（12月末現在）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自粛期間有り

・巡回パトロール（含白ポスト回収） 月8回実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事務局のみで実施の期間有り

子ども達のネットトラブルの危険性が高まっている中、警察情報では深夜徘徊も見受けられるとの事でコンビニや公園などの巡回補導を実施する。さらに、補導委員への研修会の充実を図り、連携を深める。

有害指定図書等の白ポストへの投函数量はやや減少しているが、依然として有害図書類の投函があるため、今後も粘り強く環境浄化に取り組む。

(2) 北播磨補導委員統一活動、青少年健全育成啓発活動

・街頭補導：非行防止リーフレットの配布・店内巡視

・年2回（7月と12月）、土曜日実施：14時30分から16時30分）

7月については新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

・大型店（イオン三木・イオン三木青山、コープ志染、トーヨー志染駅店）

・三木警察署との合同深夜補導

北播磨補導委員連絡協議会で統一して作成した「万引き防止」チラシの配布に併せ、非行・被害防止の啓発グッズ（ポケットティッシュ）を配布し、啓発活動

を行った。

(3) ネット見守り隊

- ・問題事案 0件 (1月31日現在)

インターネットサイトで、子ども達に悪影響を及ぼしている問題事案について、特別監視員にネット検索を依頼し、子ども達の見守りを行っている。各校でのネット利用教室も定着しており、中学生の SNS への投稿はあるものの、大きな問題事案は発生していない。

- ・不適切な投稿については、教育委員会を通じて該当校に指導を依頼している。

(4) 学校・警察・事業者連絡会 (情報交換会)

- ・年2回開催 (6月については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
- ・学校 (生徒指導)、学校教育課、青少年センター、補導委員会、事業者 (イオン等9業者)、警察、関係機関等が参加 各約70名

学校、警察及び業者との情報交換会を開催し、連携を図ることで青少年の非行防止と健全育成に努める。

(5) 人の目の垣根隊

- ・現隊員数 797名 (1月31日現在)

広報みきの掲載、幼稚園、小学校及び公民館などへの会員募集チラシの配布や小学校単位で意見交換会を実施し、垣根隊の活動の充実を図った。

意見交換会で出た意見や要望については関係部署とつなぎ、改善に向けて取り組んだ。

令和2年度三木市立教育センター事業一覧

※教育指導者の資質を高め、教育の充実を図るための研修や調査・研究、情報化社会に柔軟に対応するための教育活動、生涯学習社会に即応した市民研修等、教育全般に関する各事業の充実を図る。

I 研修事業（・教職員研修講座の計画及び実施）

- 1 専門研修講座・校務システム研修会
 - (1) 人間力・学校力向上教育コース（・幼児教育・生徒指導・学級経営・学校経営・教育相談）
 - (2) 授業力向上教育コース（・教育方法・教科指導へのICTの活用・情報教育）
 - (3) 個を生かす教育コース（特別支援教育・人権教育・学級経営・教育方法）
- 2 若年経験者研修・中堅教員研修

II 調査・研究事業（・教育に係る専門的な調査及び研究）

- 1 研究員制度
 - ・ 指定課題（教科教育部門、道徳教育部門、特別活動部門、生徒指導部門、特別支援教育部門、教育の情報化部門、外国語活動部門、幼児教育・保育部門、その他）
- 2 研究発表会「ニュー教育ウェブ」
- 3 研究紀要編集

III 相談事業（・教育相談に関すること）

- 1 教育相談（・不登校、いじめ、人間関係、子育て、発達に関すること、その他）
- 2 教育指導（・教科等の指導方法、生徒指導、情報教育・ICT教育、研究推進、その他）
- 3 青少年悩みの相談

IV 教育の情報化事業（・ネットワーク管理運用及び教育の推進）

- 1 教育用ネットワークシステム
- 2 デジタルコンテンツの整備と運用
- 3 情報教育・ICT教育の推進

V 視聴覚教育事業（・視聴覚機器管理運用及び教育の推進）

- 1 教材・資料の整備
- 2 ソフト開発
- 3 視聴覚ライブラリー

VI 不登校問題対策事業（・不登校児童生徒の自立と学校復帰の支援）

- 1 適応教室「みつきいルーム」
- 2 家庭支援活動

VII 特別支援教育推進事業（・特別支援教育の推進）

- 1 特別支援教育担当者研修
- 2 特別支援コーディネータ等への研修
- 3 各機関との支援・連携
- 4 相談・情報提供

VIII 生涯学習活動（・生涯学習社会に即応した事業の企画と実施）

- 1 市民講座（・一般市民対象）
- 2 教育講演会・CGアートコンテスト・中高年コンピュータ教室

図書館

1 令和2年度の成果と課題

- (1) 成果 新型コロナウイルスの影響で、利用者が減少したり、イベント等が開催できない時期もあったが、休校中の子どもたちに「自由研究ヒントカード」をホームページに掲載したり、ツイッターを利用して図書館情報を配信したりと、コロナ禍における図書館運営を工夫してきた。その結果、4月～1月のほとんどの月で予約冊数が前年度より増加し、特にインターネットによる予約が12%増加した。
- (2) 課題 高齢や障がいのために、図書館を利用したくてもできない市民がいることが予想される。また、コロナ禍でもすべての市民が便利に図書館を利用するための施策の実施が必要である。

2 図書館事業実施状況

(令和3年1月31日現在)

施策の体系	事業名	実施日等	事業の内容										
(1) 図書館運営	図書館協議会	7月30日	ア 会場 中央図書館視聴覚室 イ 参加人数 8人 ウ 内容 (ア) 令和元年度図書館事業実績について (イ) 令和2年度図書館事業について (ウ) 新しい生活様式に則した図書館運営について (エ) その他 図書館の開館時間について										
		1月26日	ア 会場 中央図書館視聴覚室 イ 参加人数 9人 ウ 内容 (ア) 令和2年度図書館事業について (イ) 令和3年度図書館事業について (ウ) 図書館の宅配・郵送サービスについて (エ) その他										
(2) 図書館資料の充実	資料の充実		図書（一般書、児童書）及び視聴覚資料の購入										
(3) 図書館利用	資料貸出等事業		ア 登録者数 29,454人（うち新規 1,034人） イ 図書（雑誌・AVを含む）貸出冊数（個人） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>中央図書館</td> <td>317,443冊</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>126,373冊</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>108,336冊</td> </tr> <tr> <td>自由が丘公民館</td> <td>9,658冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>561,810冊</td> </tr> </table>	中央図書館	317,443冊	青山図書館	126,373冊	吉川図書館	108,336冊	自由が丘公民館	9,658冊	計	561,810冊
			中央図書館	317,443冊									
青山図書館	126,373冊												
吉川図書館	108,336冊												
自由が丘公民館	9,658冊												
計	561,810冊												
ウ 予約・リクエスト（インターネットを含む） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>中央図書館</td> <td>56,942件</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>31,682件</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>19,889件</td> </tr> <tr> <td>自由が丘公民館</td> <td>7,651件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>116,164件</td> </tr> </table>	中央図書館	56,942件	青山図書館	31,682件	吉川図書館	19,889件	自由が丘公民館	7,651件	計	116,164件			
中央図書館	56,942件												
青山図書館	31,682件												
吉川図書館	19,889件												
自由が丘公民館	7,651件												
計	116,164件												

			<p>エ レファレンス (所蔵調査含む)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>方法</th> <th>中央図書館</th> <th>青山図書館</th> <th>吉川図書館</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来館</td> <td>631件</td> <td>892件</td> <td>277件</td> <td>1,800件</td> </tr> <tr> <td>文書</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>31件</td> <td>349件</td> <td>95件</td> <td>475件</td> </tr> <tr> <td>メール</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>664件</td> <td>1,241件</td> <td>372件</td> <td>2,277件</td> </tr> </tbody> </table> <p>オ 相互貸借 (県立、他市町館間等)</p> <p>(7) 貸出 663冊</p> <p>(イ) 借受 1,819冊</p>	方法	中央図書館	青山図書館	吉川図書館	計	来館	631件	892件	277件	1,800件	文書	2件	0件	0件	2件	電話	31件	349件	95件	475件	メール	0件	0件	0件	0件	計	664件	1,241件	372件	2,277件											
方法	中央図書館	青山図書館	吉川図書館	計																																								
来館	631件	892件	277件	1,800件																																								
文書	2件	0件	0件	2件																																								
電話	31件	349件	95件	475件																																								
メール	0件	0件	0件	0件																																								
計	664件	1,241件	372件	2,277件																																								
	施設等利用		<p>ア 視聴覚ライブラリー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>中央図書館</th> <th>吉川図書館</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビデオ</td> <td>8件</td> <td>0件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>96件</td> <td>69件</td> <td>165件</td> </tr> <tr> <td>CD</td> <td>3件</td> <td>0件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>107件</td> <td>69件</td> <td>176件</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 文献複写</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>件数</th> <th>枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>523件</td> <td>2,563枚</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>143件</td> <td>204枚</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>47件</td> <td>123枚</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>713件</td> <td>2,890枚</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ インターネット端末利用者</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>374人</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>447人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	中央図書館	吉川図書館	計	ビデオ	8件	0件	8件	DVD	96件	69件	165件	CD	3件	0件	3件	計	107件	69件	176件	館名	件数	枚数	中央図書館	523件	2,563枚	青山図書館	143件	204枚	吉川図書館	47件	123枚	計	713件	2,890枚	中央図書館	374人	吉川図書館	73人	計	447人
項目	中央図書館	吉川図書館	計																																									
ビデオ	8件	0件	8件																																									
DVD	96件	69件	165件																																									
CD	3件	0件	3件																																									
計	107件	69件	176件																																									
館名	件数	枚数																																										
中央図書館	523件	2,563枚																																										
青山図書館	143件	204枚																																										
吉川図書館	47件	123枚																																										
計	713件	2,890枚																																										
中央図書館	374人																																											
吉川図書館	73人																																											
計	447人																																											
	学校との連携		<p>学校図書室と連携し、必要な資料の選定、貸出しを行う 市内学校団体貸出数 2,287冊</p>																																									
(4) 図書館資料の整備	資料の所蔵状況		<p>ア 図書</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>211,452冊</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>61,133冊</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>64,984冊</td> </tr> <tr> <td>自由が丘公民館</td> <td>3,490冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>341,059冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 雑誌</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>137タイトル</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>55タイトル</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>69タイトル</td> </tr> <tr> <td>自由が丘公民館</td> <td>1タイトル</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>262タイトル</td> </tr> </tbody> </table>	中央図書館	211,452冊	青山図書館	61,133冊	吉川図書館	64,984冊	自由が丘公民館	3,490冊	計	341,059冊	中央図書館	137タイトル	青山図書館	55タイトル	吉川図書館	69タイトル	自由が丘公民館	1タイトル	計	262タイトル																					
中央図書館	211,452冊																																											
青山図書館	61,133冊																																											
吉川図書館	64,984冊																																											
自由が丘公民館	3,490冊																																											
計	341,059冊																																											
中央図書館	137タイトル																																											
青山図書館	55タイトル																																											
吉川図書館	69タイトル																																											
自由が丘公民館	1タイトル																																											
計	262タイトル																																											

			ウ 新聞 <table border="1"> <tr><td>中央図書館</td><td>購入 8 紙</td></tr> <tr><td>青山図書館</td><td>購入 7 紙</td></tr> <tr><td>吉川図書館</td><td>購入 7 紙 寄贈 1 紙</td></tr> <tr><td>自由が丘公民館</td><td>購入 2 紙</td></tr> <tr><td>計</td><td>購入 24 紙 寄贈 1 紙</td></tr> </table> エ 視聴覚資料 <table border="1"> <tr><td>中央図書館</td><td>3,271 点</td></tr> <tr><td>青山図書館</td><td>1,262 点</td></tr> <tr><td>吉川図書館</td><td>1,841 点</td></tr> <tr><td>計</td><td>6,374 点</td></tr> </table>	中央図書館	購入 8 紙	青山図書館	購入 7 紙	吉川図書館	購入 7 紙 寄贈 1 紙	自由が丘公民館	購入 2 紙	計	購入 24 紙 寄贈 1 紙	中央図書館	3,271 点	青山図書館	1,262 点	吉川図書館	1,841 点	計	6,374 点
	中央図書館	購入 8 紙																			
青山図書館	購入 7 紙																				
吉川図書館	購入 7 紙 寄贈 1 紙																				
自由が丘公民館	購入 2 紙																				
計	購入 24 紙 寄贈 1 紙																				
中央図書館	3,271 点																				
青山図書館	1,262 点																				
吉川図書館	1,841 点																				
計	6,374 点																				
	蔵書点検		<table border="1"> <thead> <tr><th>実施日</th><th>館名</th><th>不明冊数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>4/18~4/26</td><td>中央図書館</td><td>142 冊</td></tr> <tr><td>4/12~4/17</td><td>青山図書館</td><td>70 冊</td></tr> <tr><td>4/13~4/17</td><td>吉川図書館</td><td>74 冊</td></tr> <tr><td>4/13</td><td>自由が丘公民館</td><td>17 冊</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>303 冊</td></tr> </tbody> </table>	実施日	館名	不明冊数	4/18~4/26	中央図書館	142 冊	4/12~4/17	青山図書館	70 冊	4/13~4/17	吉川図書館	74 冊	4/13	自由が丘公民館	17 冊	計		303 冊
実施日	館名	不明冊数																			
4/18~4/26	中央図書館	142 冊																			
4/12~4/17	青山図書館	70 冊																			
4/13~4/17	吉川図書館	74 冊																			
4/13	自由が丘公民館	17 冊																			
計		303 冊																			
(5) 講座、講演会、展示会、その他図書館活動	講演会等	4月18日～5月14日	ア 事業名 こいのぼりぬりえ イ 会場 青山図書館 ウ 参加人数 コロナウイルス拡大の現状を受け中止																		
		4月26日	ア 事業名 こどもの読書週間イベント DVD 上映会 イ 会場 中央図書館 ウ 題名 「おしりたんてい⑧～ププッ うたがわれたけいじ～」 エ 参加人数 コロナウイルス拡大の現状を受け中止																		
		6月27日～7月7日	ア 事業名 七夕かざりをしよう イ 会場 吉川図書館 ウ 参加人数 139 人																		
		7月1日～8月31日	ア 事業名 自由研究ヒントカード イ 会場 中央図書館、青山図書館、吉川図書館																		
		8月23日	ア 事業名 かがく工作教室&おはなし会 イ 会場 吉川図書館 ウ 参加人数 6 人																		
			ア 事業名 製本・図書修理教室 (全 8 回) イ 講師 平野照子 <table border="1"> <thead> <tr><th>開催日</th><th>参加人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>9月14日</td><td>12 人</td></tr> <tr><td>9月21日</td><td>10 人</td></tr> <tr><td>10月12日</td><td>12 人</td></tr> <tr><td>10月26日</td><td>12 人</td></tr> <tr><td>11月9日</td><td>11 人</td></tr> <tr><td>11月16日</td><td>12 人</td></tr> <tr><td>12月7日</td><td>12 人</td></tr> <tr><td>12月21日</td><td>12 人</td></tr> </tbody> </table>	開催日	参加人数	9月14日	12 人	9月21日	10 人	10月12日	12 人	10月26日	12 人	11月9日	11 人	11月16日	12 人	12月7日	12 人	12月21日	12 人
開催日	参加人数																				
9月14日	12 人																				
9月21日	10 人																				
10月12日	12 人																				
10月26日	12 人																				
11月9日	11 人																				
11月16日	12 人																				
12月7日	12 人																				
12月21日	12 人																				

		10月4日 17日	ア 事業名 あおとフェス 2020 イ 会場 青山図書館 ウ 内容 CD&DVD 貸出 2 倍 Day、雑誌付録の抽選会									
		10月18日	ア 事業名 ハロウィンのおはなし会 イ 会場 吉川図書館 ウ 参加人数 16人									
		11月1日～ 30日	ア 事業名 中央図書館 開館 5 周年記念企画 イ 会場 中央図書館 ウ 内容 (ア) 図書館にまつわるエピソードの募集 (イ) 5 周年ありがとう 記念しおりの配布 (なくなり次第終了)									
		11月3日	ア 事業名 第 7 回ビブリアバトル in 三木 イ 会場 中央図書館 ウ 内容 ゲーム感覚で行う、本の書評合戦 エ 参加人数 34人									
		11月21日	ア 事業名 よかぼんまつり 2020 イ 会場 吉川図書館 ウ 内容 貸出冊数 2 倍 Day									
		11月27日	ア 事業名 みき だっこで絵本の会 in 青山 イ 会場 青山公民館 多目的室 ウ 内容 絵本の読み聞かせや手あそびの紹介 エ 参加人数 18人									
			ア 事業名 クリスマスおはなし会 イ 出演 みきおはなし会*絵本の森 <table border="1" data-bbox="877 1120 1476 1243"> <thead> <tr> <th>館 名</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>12月20日</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>12月5日</td> <td>38人</td> </tr> </tbody> </table>	館 名	開催日	参加人数	中央図書館	12月20日	22人	青山図書館	12月5日	38人
		館 名	開催日	参加人数								
		中央図書館	12月20日	22人								
		青山図書館	12月5日	38人								
12月5日	ア 事業名 ぬいぐるみのおとまり会 イ 会場 吉川図書館 ウ 参加人数 15人											
12月21日	ア 事業名 すくすくのクリスマス会 イ 会場 吉川図書館 ウ 内容 「クリスマスのかくれんぼ」他 エ 出演 吉川図書館を考える会「すくすく」 オ 参加人数 7人											
1月9日	ア 事業名 おたのしみ袋 イ 会場 青山図書館 ウ 内容 職員がテーマごとに選んだ本の「おたのしみ袋」(おとな袋 25 袋、こども袋 25 袋)の貸出											

		ア 事業名 寄贈 DVD 上映会 イ 題 名 「神さま、わたしの鉄道をまもって。～三木の紅龍伝説～」															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>館 名</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>1月11日</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>1月30日</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>1月9日</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>	館 名	開催日	参加人数	中央図書館	1月11日	8人	青山図書館	1月30日	15人	吉川図書館	1月9日	4人			
館 名	開催日	参加人数															
中央図書館	1月11日	8人															
青山図書館	1月30日	15人															
吉川図書館	1月9日	4人															
	1月17日	ア 事業名 えいごのおはなしかい イ 会 場 吉川図書館 ウ 参加人数 12人															
リサイクル	9月5日	ア 事業名 雑誌・図書のリサイクル イ 会 場 中央図書館 ウ 冊 数 雑誌約950冊、図書約910冊															
	9月7日	ア 事業名 雑誌のリサイクル イ 会 場 自由が丘公民館 ウ 冊 数 雑誌12冊															
	10月10日	ア 事業名 あおとフェス2020として実施 イ 会 場 青山図書館 ウ 冊 数 雑誌約600冊、図書約700冊															
	11月21日	ア 事業名 よかぼんまつり2020として実施 イ 会 場 吉川図書館 ウ 冊 数 雑誌約890冊、図書約1,070冊															
展示	8月1日～ 8月16日	ア 事業名 第11回 三木飛行場展 イ 会 場 中央図書館 ウ 内 容 戦後75周年 エ 解 説 宮田逸民 オ 参加人数 22人															
赤ちゃん絵本のふれあい事業～ブックスタート～	年 間	ア 乳児健診 ブックスタートパック（絵本2冊、絵本リストなどが入ったコットンバッグ）をプレゼント イ 1歳6か月児健診 絵本リストの配布															
おはなし会	年 間	ボランティア等による絵本の読み聞かせ <table border="1"> <thead> <tr> <th>館 名</th> <th>回 数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>36回</td> <td>211人</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>29回</td> <td>163人</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>5回</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>70回</td> <td>388人</td> </tr> </tbody> </table>	館 名	回 数	参加人数	中央図書館	36回	211人	青山図書館	29回	163人	吉川図書館	5回	14人	計	70回	388人
館 名	回 数	参加人数															
中央図書館	36回	211人															
青山図書館	29回	163人															
吉川図書館	5回	14人															
計	70回	388人															
ストーリーテリング	年 間	ア 内 容 ボランティアによるお話し イ 回 数 7回 ウ 参加人数 20人 エ 会 場 中央図書館															

	だっこで絵本の会	年間	ア 内容 絵本の紹介、読み聞かせ、手遊び イ 回数 7回 ウ 参加人数 たまご組：4か月から1歳未満の親子12組 ひよこ組：1歳から2歳未満の親子6組 エ 会場 中央図書館																				
	対面朗読	年間	ア 内容 図書の朗読 イ 回数 5回 ウ 参加人数 0人 エ 会場 中央図書館																				
	手話で本を読む	年間	ア 内容 手話による図書の通訳 イ 回数 6回 ウ 参加人数 10人 エ 会場 中央図書館																				
	図書修理	年間	ボランティアによる図書の修理 <table border="1" data-bbox="858 757 1513 958"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>実施日</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>毎週火・金曜日</td> <td>64回</td> <td>415人</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>毎週火曜日</td> <td>30回</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>毎月第3火曜日</td> <td>8回</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>102回</td> <td>511人</td> </tr> </tbody> </table>	館名	実施日	回数	参加人数	中央図書館	毎週火・金曜日	64回	415人	青山図書館	毎週火曜日	30回	82人	吉川図書館	毎月第3火曜日	8回	14人	計		102回	511人
館名	実施日	回数	参加人数																				
中央図書館	毎週火・金曜日	64回	415人																				
青山図書館	毎週火曜日	30回	82人																				
吉川図書館	毎月第3火曜日	8回	14人																				
計		102回	511人																				
	図書搬送	年間	ボランティアによる図書の搬送 <table border="1" data-bbox="858 1012 1394 1093"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>毎週土・日曜日</td> <td>69回</td> <td>69人</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	回数	参加人数	毎週土・日曜日	69回	69人														
実施日	回数	参加人数																					
毎週土・日曜日	69回	69人																					
(6)その他	図書館だよりの発行	毎月1回	新着図書、図書館からのお知らせ、行事予定等を掲載																				

市民協働課

1 地域のまちづくりに関すること

(1) 課題と今後の取組

市内10地区で市民協議会が設立されてから概ね10年が経過し、市民協議会の実施事業では、地域住民、世代間の交流事業も定着してきている。これまで、まちづくりに関する研修などを進め、課題検討等のための部会を設置するなど、各地区で地域課題について話し合う機会づくりや解決に向けた取組が行われている。

一方で、構成員の固定化や高齢化、住民の積極的な参画、行事やイベントの慣例化など、市民協議会を運営していく上で、様々な課題が見え始めている。

また、地区ごとに行われている市政懇談会での意見交換を通して、より具体的な地域課題も地区内で共有されており、これらの解決に向けて、行政のみならず、各地域でもより主体的なまちづくりへの更なる取組が重要になっている。

今後、市民協議会の自主的・主体的な取組みを促進し、各協議会の組織力を強化していくため、各公民館等に配置される「地域まちづくり担当」が中心となり、地域での自発的な取組みを促すとともに、地域と行政を結ぶパイプ役として、地域に根差した支援を継続して実施する。

同時に、地域に対する補助金等について、より地域活性化に資する制度となるよう総合的な見地からの見直しを検討する。

人権推進課

1 令和2年度 人権尊重の文化に満ちたまちづくりにかかる事業の実施状況 (令和3年1月31日現在)

(1) 三木市人権・同和教育協議会（三同教）に関すること

【実施状況】

公民館（地推協等）や総合隣保館との連携のもと、市民主体の人権教育・啓発の推進に取り組んでいる。

ア 三同教総会（1回、書面開催）

役員会（4回、うち1回書面開催）

各専門部会・研修会（7回、うち6回書面開催）

企画・運営委員会（8回）

三同教研究大会（1回、紙上開催）

イ じんけんサポート（24件）、じんけんスタディ（8件）

ウ じんけんカレンダー（1,000部）

エ 啓発放送（毎月4回）

オ 三同教研究集録、人権・同和教育実践記録集

【成果と課題 今後の改善方法】

「各種団体等の学習活動」「中高校生を対象とした人権研修」「FMみつきいによる人権啓発放送」「研究大会、各種研修等の参加支援」「人権ふれあい交流」などの事業を継続実施し、さらに、「三同教スリーサポーターズ登録制度」など、市民参画型の啓発事業を進める予定をしていたが、新型コロナウイルスの感染防止のため多くの研修等が延期・中止となった。そのような中、三同教ホームページを開設し、三同教の周知を図るとともに紙上で工夫して研究大会を開催するなど、人権教育・啓発に取り組んだ。今後も開催方法等に工夫をこらし、活動を推進していく。

(2) 人権教育・啓発事業に関すること

【実施状況】

平成24年度から、全ての公民館に人権推進担当を配置し、人権教育・啓発の一層の推進に取り組んでいる。

ア 人権教育指導員研修会（9回）

イ 住民学習指導者・リーダー研修会、住民学習会、地区別研究大会、団体別研修会（※別紙のとおり）

ウ 三木市教育事業（青少年11学級、成人5学級）

エ 人権リーダー育成講座（0回）※延期になり3月に開催予定

オ 人権教育団体活動助成事業（登録6団体）

カ 啓発資料作成（ふるさとに生きる vol. 30、人権作文集等）

キ 人権尊重のまちづくり推進強調月間（今年度は8月及び12月）の取組（ポスター・標語・作文の募集・表彰、街頭啓発、市民じんけんの集いの開催等）

ク 啓発ビデオ等視聴覚資料の貸出し

【成果と課題 今後の改善方法】

8月の人権尊重のまちづくり推進強調月間は、三木東高等学校の放送部の協力により、録音した内容を街頭啓発カーにて市内アナウンスを実施した。高校生との連携や、小中学生の人権作品募集など、若い世代への啓発も続けていきたい。

今年度の住民学習は、新型コロナウイルス感染症の影響により、小規模開催や家庭内でYoutube動画を視聴して学習するなど、従来と違った開催方法となった。住民からのアンケートをもとに振り返り、次年度の取組に活かすことが必要である。

(3) 総合隣保館事業に関すること

【実施状況】

市民の社会的、経済的、文化的生活向上と福祉の増進を図り、同和問題の解決に資するための事業を推進している。

ア 運営委員会の開催（2回、内1回は書面開催）、相談事業

イ 地域福祉事業（4回）、教養文化講座開催（3講座）、子ども教室（2回）

ウ 啓発事業

同和教育セミナー中止、人権フォーラム（紙上発表）、文化祭（市民じんけんの集いと併催）、視察研修（1回）

エ 広報活動事業（隣保館だより（毎月1回）

啓発冊子「しあわせに生きる」（年1回）

オ 書籍アーカイブ事業

【成果と課題 今後の改善方法】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、同和教育セミナーは中止、人権フォーラムは意見発表者を選出し、発表原稿を紙上（冊子による）で発表とした。

来年度は、ネットを利用したりリモート開催など開催方法に工夫をこらし事業を推進する。

2 令和3年度 人権尊重の文化に満ちたまちづくりにかかる事業の実施計画

これまでの人権啓発の取組を継続するとともに実施方法の工夫、指導者育成の強化等により、人権尊重の文化に満ちたまちづくりにかかる事業の充実を図る。

令和2年度 各地推協活動実施状況集計

令和3年1月31日現在

		三木地区	三木南地区	別所地区	志染地区	細川地区	口吉川地区	緑が丘地区	自由が丘地区	青山地区	吉川地区	計
地推協総会 (※書面開催を含む)	回数	1	1	1	1	1	1	1			1	7
	参加者	102		40	74	78	39				35	368
指導者研修会 リーダー研修会	回数	3		1	1			3	1	3		12
	参加者	126		38	43			129	13	51		400
※別紙のとおり												
住民学習	回数	2	2	1	2	2	1	3	9	8	2	32
	参加者	64	86	43	84	40	19	52	263	132	82	865
団体、サークル等 学習	回数				1	1	1					3
	参加者				59	53	62					174
視察研修等	回数				1		1	1				3
	参加者				18		25	19				62
合計	回数	6	3	3	6	4	4	7	10	11	3	57
	参加者	292	86	121	278	171	145	200	276	183	117	1869

地区	主な学習テーマ	教材	回数	参加者数
三木	人権が尊重される明るく住みよい地域づくりをめざして	啓発ビデオ「サラーマット」 啓発冊子「ふるさとに生きる30」他	14回	171名
三木南	人権感覚あふれる三木南地区をめざそう	啓発ビデオ「サラーマット」	8回	215名
別所	すべての人の人権が尊重される明るく住みよいまちづくり	①啓発ビデオ「サラーマット」 ②啓発ビデオ「サラーマット」及びYoutube動画「外国人と人権」 ③Youtube動画「外国人と人権」視聴	①9回 ②3回 ③4回	①144名 ②54名 ③101名
志染	人がやさしい地域づくりをめざして	啓発ビデオ「サラーマット」等	14回	407名
細川	SNS時代における外国人の人権について考える。 ※今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、原則として参集型の住民学習会は開催しない。	啓発ビデオ「サラーマット」、 人権啓発ビデオ活用ガイド (全戸回覧による住民学習を実施、3自治会は、感染防止対策を講じて住民学習を開催)	22地区 349回	537名
口吉川	人権を大切にする明るい地域づくりをめざして	啓発ビデオ「サラーマット」 ⇒口吉川テレビでDVDを上映	8回	328名
緑が丘	・身近な人権問題を考える ・人権文化、豊かなまちづくりに向けて	啓発ビデオ「サラーマット」	3回	89名
自由が丘	①人権を大切にする明るい家庭づくり、街づくりを進めよう ②障がい者に対する自治会の在り方を考える	①啓発ビデオ「サラーマット」 Youtube視聴「外国人の人権」 ②新聞記事	①10回 ②1回	①243名 ②25名
青山	人権が大切にされ、明るく住みよいまちづくりを進める	啓発ビデオ「サラーマット」	1回	9名
吉川	外国人に対する人権を学ぶ	啓発ビデオ「サラーマット」 人権啓発資料「ふるさとに生きる」	32回	325名

令和3年度 東播磨・北播磨地区社会教育委員協議会事業計画予定

事 項	日 時	場 所	内 容
第1回幹事会・事務担当者会	5月中旬 14:00～16:00	兵庫県 加古川総合庁舎 会議室	令和2年度事業・決算・報告 令和3年度役員選出について 令和3年度事業計画(案)・予算(案)・総会議案について
総会 第1回研修会	6月15日(火) 13:30～16:00	播磨町	総会 顕彰 令和2年度 事業・会計決算・監査の報告 令和3年度役員・事業計画(案)・予算(案) の審議、決定 演題 「未定」 講師 未定
第2回研修会 (社会教育団体合同 研修会)	7月10日(土) 13:30～16:10	三木市 三木市文化会館 小ホール	東播磨・北播磨地区社会教育振興大会 講演 「子ども達を地域で守る防犯活動」 講師 関西国際大学 心理学部教授 中山 誠 様
第2回幹事会 (東・北公連と合同)	7月29日(木) 13:30～16:00	加古川市	第3回研修会について 近畿大会・全国大会について
第3回研修会 (東・北公連と合同)	10月12日(火) 13:30～15:35	加古川市多可町	演題 「未定」 講師 未定
第3回幹事会・事務担当者会	3月上旬 13:30～14:45	兵庫県 加古川総合庁舎 会議室	令和3年度事業報告・決算見込報告 令和4年度事業計画(案)・予算(案)について
監査会	3月下旬 10:00～11:30	兵庫県 加古川総合庁舎 会議室	令和3年度会計監査

令和3年1月31日現在

令和3年度兵庫県社会教育委員協議会関連日程予定

日 程	行 事 名	開 催 場 所
6月中旬	兵庫県社会教育委員協議会 役員会（第1回）	神戸市 （県庁周辺施設）
7月5日（月）	兵庫県社会教育委員協議会 総会・研修会	神戸市 （ホテル北野プラザ六甲荘）
9月9日（木）（予定）	近畿地区社会教育研究大会 （大阪大会）	高槻市 （高槻現代劇場）（予定）
10月上旬	兵庫県社会教育委員協議会 役員会（第2回）	神戸市 （県庁周辺施設）
10月27日（水）～ 29日（金）	全国社会教育研究大会 （石川大会）	小松市 （こまつ芸術劇場うらら）
11月中旬	兵庫県社会教育研究大会	神戸市 （県庁周辺施設）

令和3年1月31日現在

